



一般社団法人
長崎青年協会



45周年記念誌



青年協会応援歌
友（想い…）

一般社団法人 長崎青年協会の歌

一般社団法人
長崎青年協会憲章

文化豊か
日夜まぶしく みがけしは
我等が宿命さだめ 青年の

我々は会員の団結と

相互扶助の精神の基に

自己の建設と

会員の親睦を図り

もつて地域社会の発展に

寄与する事を目的とする

掲げて今日も 益荒男は
瓊の浦より こぎいでん
明日の故郷を 創るため
ああ長崎青年協会

熱血沸いて もえたぎる
我青雲の こころざし
愛と真理の この胸は
明日の故郷を 築く夢
ああ長崎青年協会

あのころ夢見たことが 今叶いつある
酒をくみかわし 共に夢を語り合う
自信があれば何でもできる
若い力を想いにぶつけて情熱燃やそう

この街が好きなんだけど何か足りない気がして
みんなひとつになつて やればいい
出来ないことはない 想いがあるのなら
いろいろと云う前に動くことだ 僕たちらしく…

アーアーアー

汗をかき 涙流して 共に創ろう この街を
自分のために そして 夢を見たように

共に夢を求めるために 自分に厳しく
温かく迎えれば 心がかよいあう
つらくとも 笑つていられる
それはすばらしい仲間がいるから

アーアーアー

汗をかき 涙流して 共に創ろうこの街を
自分のために そして 夢を見たように

アーアーアー

汗をかき 涙流して 共に創ろうこの街を
自分のために そして 夢を見たように

目 次

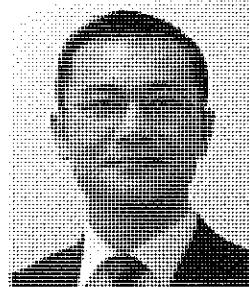
会長挨拶 2
O B会長挨拶 3
長崎県知事祝辞 4
長崎市長祝辞 5
特別企画 1 第41期会長～第45期会長による記念対談 6
青年協会活動年表 10
過去5年間の活動報告 14
特別企画 2 若手会員による記念対談 24
現役会員名簿 28
45周年記念式典集合写真 30
記念事業 32
編集後記	

一般社団法人 長崎青年協会

第四十五期 会長

ご挨拶

戸 村 大 助



当会は今年で満45歳を迎えることとなりました。これも日頃より当会の活動にご理解、ご協力をいただいております長崎県、長崎市の関係各所様、長崎で活躍されている他団体の皆様、また、当会が掲げる憲章を次世代へと引き継いでこられた諸先輩の皆様のおかげだと深く感謝申し上げます。

会が発足した当時の様子は聞くところでしか存じませんが、高度成長期の真っただ中で、生活を豊かにすべくがむしゃらに働き、町中が好景気に沸いて、街中で人と人の肩がぶつかり合うほどの活気で溢れていたそうです。折しもその年は長崎国体が開催され、岩手県役員団に会員の車を提供するなどの協力を行なったと聞いておりますし、今年も長崎がんばらんば国体・がんばらんば大会が開催されるということに、深い縁を感じております。

さて、私は今年度のスローガンを「らしく」とさせていただきました。人はそれぞれ長所もあれば短所もあり、それがその人の個性であり、らしさです。そのらしさを活かし、当会の不变的スローガンでありますチャレンジャー精神のもと、他と比べるのではなく、我々は我々らしく活動して行かなければならぬとの思いをそこに込めさせて頂きました。

今年度は、法人制度改革に伴う一般社団法人化に始まり、長崎で行われている各種イベントへの参加、青少年育成事業、おくんち親睦広場を開催いたしました。そして創立45周年記念事業として、元巨人軍の香田さん、吉村さんをお迎えした中学生対象の野球教室、スポーツジャーナリストの義田貴士さんによる記念講演を行い、微力ながら地域貢献をさせて頂くことが出来ているのではないかと思っております。

こういった経験を我々もまた次世代へと引き継ぎ、50年、60年と続けていける団体に、と現役会員一同努力していく所存です。

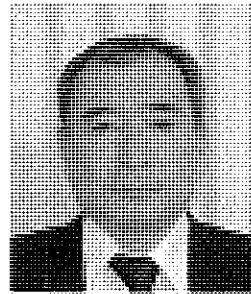
最後に、今後も当会に対して温かいご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

一般社団法人 長崎青年協会

O B 会 会 長

ご 挨 捶

船 越 正 治



一般社団法人長崎青年協会創立45周年を迎えるに当たり、OB会を代表して心よりお喜び申し上げます。本当におめでとうございます。

さて、長崎弁で街造り、地域造りに一生懸命頑張る人の事を『のぼせもん』と言うそうですが、そういう諸先輩方が長崎だけの団体を作ったのが昭和44年の事です。時代背景で言えば学生運動が激しかった頃で、東大の安田講堂が燃えた年でもあります。

銅座界隈で酒を飲みながら喧々諤々の意見を戦わせ、「このままでは駄目だ！」「何かすっか！？」と言う事で、今で言う団塊の世代の先輩達が立ち上げたのが始まりです。その時のメンバーの方に聞くと「これだけ続くとは思わなかつたし、これだけ素晴らしい会に発展するとは…」と述懐されてました。

私が入会した昭和59年に社団法人格を取得しまして、名実共に本当の会になったと思います。更に会員数が100名近くになった昭和62年当時の会長が「全ての催し物に参加するぞ！」と公言されて、官庁関係、テレビ関係、その他の一般団体とお付き合いが始まったと記憶しております。

昨今、少子化の問題で現役会員の皆さんは悩んでいるみたいですが、自分達が青年協会で学んだ事を誠実に恐れないので人に訴えていけば、自ずと道は開けると私は信じております。

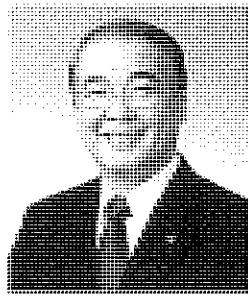
最後になりますが、OB会も全力をもって現役会員の皆さんを応援いたしますので、更なる飛躍を達成されます事を祈念して、私の挨拶とさせていただきます。

『のぼせもん』万歳！！！

祝　　辞

長崎県知事

中　村　法　道



一般社団法人長崎青年協会の創立45周年、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

長崎青年協会におかれましては、昭和44年の創立以来、歴代会長、役員並びに会員皆様の堅い絆とたゆみないご努力によって順調な発展を遂げられ、ここにめでたく45周年という記念すべき節目を迎えることは、誠に喜ばしい限りでございます。

この間、青少年育成活動や、地元長崎の活性化に向けた事業に積極的に取り組まれ、特に秋の「おくんち」期間中に江戸町公園で開催される「おくんち親睦広場」は、多くの方々が賑わい、交流を深める場として、今や「おくんち」になくてはならないものとなっています。

また、この度は、創立45周年記念事業として、記念講演会や野球教室の開催をはじめ、地域に密着した様々な活動を展開されるなど、明るく豊かな地域社会づくりに多大なご貢献をいただいておりますことに深く敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

さて、本年度は、いよいよ本県で「長崎がんばらんば国体」と全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」を開催いたします。全国からお越しただく方々を長崎県ならではの「おもてなし」でお迎えし、感動をもってお帰りいただけるような大会とするために、現在、全力を挙げて準備を進めているところであります。

これからも、県民の皆様と力を合わせて「人や産業、地域が輝く長崎県」づくりにむけて、全力で取り組んでまいりますので、皆様におかれましても、引き続き温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

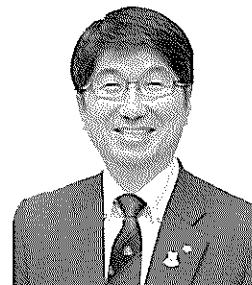
皆様には、45年という歳月の中で培われた貴重なご経験を活かしていただき、希望に満ちた地域社会の実現にご尽力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

結びに、長崎青年協会の限りないご発展と、会員皆様方の今後益々のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げ、ご祝辞とさせいただきます。

長崎市長

祝　　辞

田　上　富　久



この度、一般社団法人 長崎青年協会が創立45周年の記念すべき年を迎えるにあたり心からお祝い申し上げます。

貴協会におかれましては、若い会員の皆様が一致団結し、助け合いの心をもって、半世紀の永きにわたり地域社会へご尽力を賜っておりますことに心より敬意を表します。この間には、「サマーキャンプ」の開催などの青少年育成事業や長崎の伝統をより身近に楽しめるようにと、おくんちの期間に江戸町公園で開催される「おくんち親睦広場」ほか様々なイベントの開催をとおして、他の団体や人々との交流の場を設けられ、積極的に長崎のまちを盛り上げていただいておりますことに厚く御礼申し上げます。これまで、積み重ねられた成果や経験を生かし、今後とも地域社会の若いリーダーとして長崎市政の推進に、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、長崎がんばらんば国体の開催もいよいよ平成26年10月に迫っており、長崎市におきましては、10の正式競技（12種目）、1つの公開競技が開催される予定となっております。この国体は国内最大のスポーツの祭典であり、全国各地から、たくさんの選手団、関係者が来崎される見込みです。今後も、国体への参加をはじめ、いろいろなかたちで長崎へお越しになられる皆様を、おもてなしの心で温かくお迎えし、心に残る滞在となるよう全力で取り組んでまいりますので、皆様方におかれましてもご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に、一般社団法人 長崎青年協会の今後ますますのご発展をお祈り申し上げますとともに、戸村大助会長をはじめ関係者の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げましてお祝いの言葉といたします。

【特別企画1】第41期会長～第45期会長による記念対談①

参加者一覧

第41期会長 麓 浩二OB 第42期会長 武田 誠OB 第43期会長 山口 健太郎OB
第44期会長 佐藤 誉直前会長 第45期会長 戸村 大助会長

司会進行 45周年担当委員会 伊東 照彦君



司会

本日はお忙しい中お集りいただき、ありがとうございます。
今回は一般社団法人長崎青年協会45周年記念誌の企画として、当会の第41期から
第45期となる今年度まで会長を務められた皆様による、記念対談を行わせていただきます。

私、司会進行役の45周年担当委員会の伊東です、よろしくお願いします。

よろしくお願いします。

一同

さて、皆さんには過去5年間それぞれの年度を振り返ってもらい、その年度の思
い出話に花を咲かせていただきたいと思います。
まず、麓OBが会長をされた年で一番印象に残っている事は何ですか？

麓OB

9月に行った100%例会かな。その前までの数年間、例会の出席率が少しずつ下
がっていて、どうしても一回はしたかった。
4月から準備をしていて、当時は宮口君が総務例会委員長だったけど、ポイント
ゲッターという企画をやり続けていたね。

司会

麓OBが思う100%例会を成功させた要因は何だったのでしょうか？

麓OB

100%例会をするのが大前提だったけど、そこに至るまでの過程が必要だと思う。
なかなか来れない会員に、同期入会の会員や仲の良い会員など、全員でアプローチしていったんだよね。
僕の中でそういったアクションを起こす事が一番の目的だった。

司会

なるほど…、皆さんは麓OBが会長をされていた時の印象は何かありますか？

佐藤直前会長

福山雅治さんのパブリックビューイングが一番大きかったと思う、青年協会の歴
史にも残る事だったしね。
それがあったから、協会の知名度も上がったと思う。

司会

戸村会長が署名活動をされてたんですよね。

戸村会長

馬渡OBが会長の時からでしたね。

佐藤直前会長

ランタンフェスティバルの時も敷地があるからって豚汁とか出したりしましたよね。

武田OB

したよねー、全然売れなかったけど(笑)

山口OB

五徳を逆にして『これ何かな～？』とか言ってたりね(笑)

一同

(爆笑)

麓OB

ランタンフェスティバルも前の年の事だったんだよね。
『署名活動をする！』と言い出して、理事会の時は僕とかは反対だったんだけど、
いろんな人の熱い思いがあって、『じゃあ、やってみよう！』って事になったん
だよね。そういうストーリーがあったからこそ出来た事業だったと思うよ。

司会

麓OB、ありがとうございました。

続いて武田OBが会長をされた時の一番印象に残った事は何ですか？

武田OB

青少年育成事業でしたサマーキャンプだろうね、あれだけ大きいキャンプも初め
てだったと思うし。

【特別企画1】第41期会長～第45期会長による記念対談②

佐藤直前会長 あの時キャンプで上五島に行ったんですよね、船津君が委員長の時で長崎市とタイアップして、2泊3日の日程で凄いキャンプでしたよね。
市の方とも打ち合わせをして、サマーキャンプの事前説明会を初めて行いましたよね。

戸村会長 あの時は『海フェス』の企画だったけど、そういった話が青年協会に来たのが凄い事ですよね。応募だけでも700通から800通くらい来てたと思う、その中から100名に絞りましたね。

司会 そんなに応募が来たんですね！

麓OB キャンプも学校では出来ない事を青年協会がやる、青年協会にしか出来ない事をする、それが大事だと思う。
体罰はいけないけど、子供達を叱咤する。学校では出来ない事を勉強させる、それが青年協会のサマーキャンプだと思うよ。

戸村会長 茂田OBが委員長の時からドラム缶風呂が登場するようになって、それ以降『風呂』にこだわる様になりましたよね。
今年なんて砂浜を掘って、その中でドラム風呂にしてましたから。

山口OB それじゃあ、今度はボーリングしないとね(笑)

一同 (爆笑)

司会 先輩方がそういった事をしていくから、後輩達が年々プレッシャーを感じるようになっているのですが(笑)
それはともかく、他に皆さんの中で武田OBが会長をされた時の印象はありますか？

佐藤直前会長 『龍馬伝』のロケの警備もしましたね。

武田OB 龍馬伝のオープニングで『長崎青年協会』の文字が入ってた事には感動したね。

戸村会長 今年はそれを観て、協会に入った新人会員もいましたよ。
龍馬伝を観なおしていて、『どんな団体なんだろう？』と思って入ってきました。

麓OB 武田君の時のスローガンは『活かす!!』だったよね？

武田OB そうです。安野OB、麓OBのスローガンを元に、また頑張ろうという事で『活かす!!』にしました。

麓OB 結構、スローガンって皆思い入れがあって、僕の時は『動』だったけど、『とりあえず動いてみよう』と、動いている内に、どんどん反応が起きてきて中には結果が出てきて…

武田OB その結果を活かして、更に突き進んで次に『活かす!!』という事です。

麓OB それで山口君の時は…

山口OB 『感謝』でした。

麓OB 山口君らしいよね。

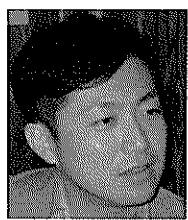
山口OB 僕は父が亡くなった時に、当時はおくんちの時くらいしか出てこなくて、例会にも何回かしか出なかったにも関わらず青年協会の皆が来てくれて、これは絶対恩返しをしなきゃと思って…。
本当に感謝の気持ちしかなかったんですよ、そこからスローガンを『感謝』にしました。

司会 山口OBが会長をされた時一番印象に残った事をお聞きしたいのですが…。



武田OB

【特別企画1】第41期会長～第45期会長による記念対談③



山口OB

- 武田OB 『でじマルシェ』は健太郎君が会長の年だったよね。
- 山口OB そうです。
- 武田OB あれは雨が降ってしまったけど、本当に良かったよね。
- 司会 雨が降ってしまったのが残念でしたけど、本当にいい事業でしたよね。
- 佐藤直前会長 私は山口OBが会長をされた時が1年間で一番酒を飲んだって印象があったかなあ。
- 戸村会長 理事会が終わった後に『健太郎さん、今日どうします?』と聞いたら、いつも『行くさ!』でしたもんね(笑)
- 司会 なるほどですね、他に山口OBに対する印象というのはありますか?
- 佐藤直前会長 山口会長の時は『よく知らないから、してくれないかな?』『ありがとうね、ありがとうございます』と言った想いが凄く伝わってきたから、私も支える立場に変わってきたというのもあったけど、『この人に恥をかかせたくない』という気持ちが強かった一年でした。
- 司会 正にスローガン通り『感謝』だったと。
- 戸村会長 後、東日本大震災が起きたその年に青年協会が行けるようになったのは、それまでは色々な手順を踏んでいたんだけど、逆に『今だからこそ緊急時に何かをしよう!』という礎を山口OBが作ってくれたのだと思います。
- 司会 そういった山口OBの後を受けたのが佐藤直前会長だったという訳ですけども、この中でただ一人だけ、スローガンが国語辞書に載っていない『対笑(たいわ)』なのですが、改めて説明していただければ…。
- 佐藤直前会長 山口OBが『感謝』をスローガンで使った時に『自分も使いたかったな』と共に感したんだけど、2年連続で使えないから、どうしようかと思っていく内に『もっと語り合わないといけないな、それが青年協会かな』というのがあって、『語る時に人の文句ばっかり言ってはいけない、笑おうよ』『お前がそう言うのなら仕方ないよね』と笑いが出るようになるのなら、いい話になるのかなと思いました。『対笑(たいわ)』と言うのは造語だけど、その人を解る為にはそれが大事かなという意味で、スローガンにさせて貰いました。
- 司会 前年度という事で、記憶に新しい所ではありますが、一番印象に残った事は何ですか?
- 佐藤直前会長 去年、私は腹いっぱいさせて貰った気持ちです。
色々な所にこだわりを持ってしていけたし、まだ去年の話で色々な各委員長に対しての想いがあるし、『今どれが…』と言われても、皆が頑張ってくれたから、『どの委員会が…』というのも言えないかな?
これが後、5年6年経ったら『今でもこれが残っていた』というのが出てくると思うけどね。
- 麓OB 会長をやっていると、ポイントと言ったものがあると思うんだよね、『皆頑張ってくれている』『会を締めないといけない』というポイントがあつて僕の時は武田君に対して皆の前で厳しくいはつたんだけど次年度会長も決まっているのに、『しっかりしなさい』というのもあるし、『次年度会長でも怒られるんだぞ』と言うものもあったよね。まあ今だから言える事だけどね。
- 武田OB 理事会前に言われましたね、『今から怒るけど堪えてくれ!』って、終わった後に『ごめんね』って(笑)
- 一同 (爆笑)

【特別企画1】第41期会長～第45期会長による記念対談④

麓OB そういう事もあるよね。

山口OB 私の時は1月の予算審議会がある時、業務改革理事であった佐藤君とか、事務局長だった戸村君とか皆で話し合って、僕が『自分がしたい事』を会長方針として全部文章で表した時、大ブーイングの嵐でしたね。『何事か！？』みたいな感じで同級生からも言われたんだけど、理事会ではそれに向かって皆がしていってくれたから何も言う事はなかったんですよね、それが無かったら自分も言っていたと思うけど、自分がしたい事を皆が一生懸命してくれたから、本当に『ありがとう』『感謝』の気持ちでいっぱいでした。



佐藤直前会長

司会 え～では、まだ今年度も途中ですが、今年度会長の戸村会長にとっての今年度はどうですか？

戸村会長 まだ今年度も途中ですので、今の段階で何がどうとはとても言えませんが、青年協会に入会した当初は『2年で会長になる！』と思っていたが、3ヶ月ほどで『青年協会には凄い人達が沢山いる』と痛感させられました。じゃあ会長になる為にはどうすればいいか、自己アピールをする事も大事だし、プレゼンしないといけないし、『ノー』が出たら『ノー』だし。人としてまだ途中ではあるけど、自分の中で一番変わったというか成長出来たなと思える事は、人の話を黙って聞くようになって、その人の言う事を理解しようと思えるようになったのが、一番かと思います。

山口OB そこまでなかなか変われないよ？(笑)

一同 (爆笑)

司会 戸村会長、ありがとうございます。
それでは最後に、これから協会や後輩達に望む事をお一人ずつ教えてもらえますか？

麓OB OBになつたら現役会員達がする事を見守っていけばいいと思うんだよね。僕はそういう立場だから文句を言う必要もないけど、相談に来たら、やっぱりそれなりの答えを出していきたいね。
ただ、自分達がやるんだ！という想いを委員長や委員会メンバーに伝えて行って貰えればと思います。

武田OB 麓OBが言われた事と似た所があるんだけど、僕が現役の時を思い返してみるとOBに近寄り辛いというか行き辛い事もあったけど、現役の方からもOBに近寄って貰えたらと思うかな。相談に行けば、何らかの答えを出して貰えると思うのでOBを巻き込むって訳じゃないけど、現役の方から相談を持ちかけられるOBになりたいなあと逆に思っています。

山口OB 僕は祈る事しか出来ないかな？グッドラックと言うか。
現役会員達がしていきたい事をしていって貰えればそれでいいかなと思います。

佐藤直前会長 私は今現役をさせて貰っている中で、これから会員が厳しくなる背景がある中では、OBに対しても遠慮しないで頼っていいって、『オール青年協会』という形で進んでいった方が良いと思います。

戸村会長 僕が今後の協会をと言うのはまだおこがましくて、現役の会長だから残念ながら今後の協会ではなくて、今残っている今年度の事業を全力でやっていきたいと思ってます。



戸村会長

司会 皆様、本日は大変貴重な対談をしていただきて、誠にありがとうございます。
これをもって、歴代会長による記念対談を終了させていただきたいと思います。
ありがとうございました。

一同 ありがとうございました。

青年協会活動年表①（第1期～第10期）

1969年 第1期 会長 小野 喜三郎 会員数 21名	10月 長崎国体で岩手県視察役員団の送迎を行う 郷土史研究会 政治経済研究会発足 11月 長崎国体実行委員会より感謝状授与
1970年 第2期 会長 三浦 勝太 会員数 48名	6月 ボーリング大会開催(第1回) 7月 青年の船に参加 8月 夏季レクリエーション 10月 ボリショイサーカスに施設児童を招待
1971年 第3期 会長 永島 正道 会員数 55名	6月 ナルシソ・イエペス ギター独奏会主催
1972年 第4期 会長 久保 征幸 会員数 28名	4月 青年協会ハタ揚げ大会 9月 文化財清掃(第1回) 高島秋帆・後藤・西川妙見・薬師寺 10月 愛の基金活動参加 11月 清掃箇所に説明案内板寄贈 2月 第1回定期例会及び臨時総会開催
1973年 第5期 会長 池本 敏典 会員数 31名	4月 明星園の子供達を旗揚げ大会に招待 9月 福祉基金チャリティーボーリング 11月 清掃箇所に説明案内板寄贈 1月 福江市久賀島の大火 救援活動
1974年 第6期 会長 金子 原二郎 会員数 50名	9月 長崎敬老観劇会(東千代之介一座 市内老人7,200名無料招待) 12月 餅つき大会(第1回)開催
1975年 第7期 会長 平野 晴一 会員数 54名	18月 明星園の子供達を市民プールに招待 9月 施設老人80名をヘルスセンターへ招待
1976年 第8期 会長 高野 一広 宮路 丈玄 会員数 54名	6月 山口 修ギターリサイタル開催 11月 文化財清掃 12月 餅つき大会(開成学園)
1977年 第9期 会長 宮路 丈玄 会員数 52名	9月 老人ホーム及び独居老人にタオル4000本寄贈 10月 明星園へスポーツ用品を寄贈 3月 プロ野球オープン戦及び野球教室に市内小中学生を無料招待
1978年 第10期 会長 三浦 勝太 会員数 52名	4月 10周年チャリティーゴルフ収益金を寄付 市内老人ホームにあんま器を寄贈 元船町に事務局設置

青年協会活動年表②（第11期～第20期）

1979年 第11期 会長 川添 吾郎 会員数 86名	6月 チャリティーダンスパーティー 8月 愛の街づくり実行委員会 9月 新人研修セミナー開催(第1回) 11月 チャリティーバザー
1980年 第12期 会長 浜崎 昭 会員数 77名	9月 初の会長選挙 11月 みんなで築こうキレイな長崎 338自治会へゴミかご700個配布 1月 新年懇親会
1981年 第13期 会長 井川 憲太郎 会員数 80名	4月 第1回青年協会ゴルフコンペ 9月 第1回少年野球教室 10月 インド大魔術団を長崎に招く(市内老人施設児童1500人招待)
1982年 第14期 会長 金子 卓司 会員数 91名	4月 県民の森にて春のレクリエーション 5月 第2回少年野球教室 6月 環境週間の一環として空き缶キャンペーンに参加
1983年 第15期 会長 勝本 博文 会員数 77名	7月 山陰水害義援金募金活動 11月 ゴミかご380個配布 1月 明社協理事として新春名刺交換会 協会15周年記念祝賀会 2月 長崎平和推進協会設立総会に参加
1984年 第16期 会長 太田 勝良 会員数 76名	4月 社団法人設立記念パーティー 6月 ナガサキアーバンルネッサンス会議出席 9月 老人ホームへカラーテレビ寄贈 10月 長崎県国際青年実行委員会出席
1985年 第17期 会長 吉野 信義 会員数 96名	6月 卒業者を送る夕べ(1回目) 7月 国際青年年(I.Y.Y)大清掃参加 9月 恵の丘原爆ホームにビデオデッキ寄贈 10月 おくんち広場(江戸町公園1回目) 11月 IYY国際フェスティバルに参加 ソフトボール大会(1回目)
1986年 第18期 会長 小川 一朗 会員数 98名	10月 JCとのソフトボール親善試合 3月 卒業者ブレザーをこの年より贈呈
1987年 第19期 会長 森山 茂 会員数 100名	7月 長崎海のフェスティバル(1回目) 9月 特別養護老人ホーム「長崎の家」1日園長 10月 ファミリンピック87に参加
1988年 第20期 会長 江村 大洋 会員数 107名	7月 留学生の集い(1回目) 11月 教育委員会より表彰 2月 バスケットボール大会 3月 20周年記念式・国際ハタ揚げ交流会

青年協会活動年表③（第21期～第30期）

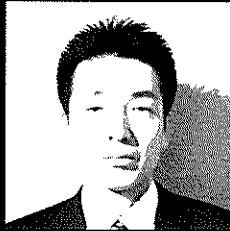
1989年 第21期 会長 野上 林八郎 会員数 110名	4月 市政協力者として市より表彰 6月 パンダサーカスに市内の3つの養護施設の子供達を招待 7月 長崎旅博覧会プレイベント開催
1990年 第22期 会長 田代 博昭 会員数 115名	5月 例会出席100%達成 8月 「旅伯おもしろ歴史クイズ」主催
1991年 23年度 会長 劉 済文 会員数 111名	6月 島原の子供達に災害見舞金10万円を県教育庁に 10月 おくんち広場にて長崎歴史文化協会の宮原先生ご講演 稲佐山元氣祭り市民ハタ揚げ大会
1992年 第24期 会長 船越 正治 会員数 107名	4月 長崎ネットワーク市民の会 代表幹事会 7月 中島川清掃参加 11月 21世紀長崎街づくりトップフォーラム参加 長崎緑化基金に寄付 2月 宮崎県青年団との交流会
1993年 第25期 会長 森 保博 会員数 101名	4月 外海町出津文化財清掃 7月 ドロ神父ゆかりのオルガン音源による音楽テープ寄贈 9月 ふうせんバレーボールふれあいin長崎(1回目) 10月 ポルトガルフェスタin長崎'93参加 1月 青年協会25周年記念祝賀会 3月 日本・ポルトガル有効450周年記念「草の根交流」事業参加
1994年 第26期 会長 桑田 敬悟 会員数 106名	4月 年5回会員講師による定例研修 6月 ボーリング懇親会 11月 ふうせんバレーボール全国大会出場 2月 兵庫県南部地震義援バザー
1995年 第27期 会長 新ヶ江 憲和 会員数 106名	6月 家族懇親大運動会 7月 ターザンコンテスト(1回目) 3月 広報誌創刊200号
1996年 第28期 会長 田川 俊幸 会員数 100名	6月 留学生と市民の集い(年4回開催) 8月 青少年育成事業(年2回開催) 2月 ランタンフェスティバルにおいて「稻佐山的燈會」(1回目)
1997年 第29期 会長 川原 哲也 会員数 110名	8月 8・8・8一斉点灯に参加 11月 事務局が五島町に移転
1998年 第30期 会長 和田 正信 会員数 110名	4月 市民功労賞・特別功労団体表彰受賞 12月 30周年記念事業「日蘭面白クイズ!なんでんかんでんおもしろ王者決定戦」ブリックホールで開催 3月 30周年記念式典

青年協会活動年表④（第31期～第40期）

1999年 第31期 会長 伊藤 克樹 会員数 107名	7月 留学生と市民の集い(年2回開催) 12月 長崎緑化基金より感謝状 3月 沖縄研修
2000年 第32期 会長 地島 秀 会員数 92名	4月 長崎開港430周年記念祝樹に参加 8月 日蘭交流400周年記念 青少年育成事業でオランダへ 2月 篠栗切幡寺にて研修
2001年 第33期 会長 野島 徹也 会員数 82名	7月 みなとまつりダンスフェスタに参加 ターザン2001開催 3月 熊本研修
2002年 第34期 会長 田川 清浩 会員数 70名	6月 地域社会事業でゴミ拾いを行う 8月 住基ネットワークシステムの管理運営監視委員に会長が任命
2003年 第35期 会長 前田 哲也 会員数 71名	8月 35周年記念青少年育成事業を五島・久賀島にて行う 1月 35周年記念式典
2004年 第36期 会長 石田 則広 会員数 62名	7月 青少年育成事業で軍艦島周遊 1月 OB合同新春懇話会
2005年 第37期 会長 峰 章二 会員数 58名	7月 青少年育成事業を伊佐の浦にて行う 2月 みのり園で福祉事業を行う
2006年 第38期 会長 三瀬 健司 会員数 62名	7月 青少年育成事業を西海市にて行う 11月 経年での緑化基金寄付で市長より表彰
2007年 第39期 会長 馬渡 鉄洋 会員数 56名	7月 OB合同例会を行う 2月 福山 雅治氏の野外ライブ誘致を目的とした街頭署名活動を開始 3月 40周年記念バザー
2008年 第40期 会長 安野 信博 会員数 62名	7月 みなとまつり公益事業 10月 40周年記念長崎ごんち大親睦祭 子供達をお化け屋敷無料招待 1月 40周年記念式典 3月 40周年記念講演で元読売巨人軍の中畠 清氏講演会市民無料招待 会員啓発事業で屋久島へ

平成21年度スローガン

『動』



第41期会長
麓浩二

平成21年度を振り返って
交流委員長 満嶋 優樹

家族懇親会



平成21年度、麓会長の下で交流委員長を務めさせていただきました。

当委員会で行った事業は、家族懇親会・ソフトボール大会・忘年懇親会・の3つの事業を行いました。

その中でも一番記憶に残っているのが、佐世保米軍基地に行った家族懇親会です。

「なぜ、米軍基地なのか?」と思われる方もいらっしゃると思いますが、先ず委員会で考えたのが、この事業の趣旨及び目的で挙げておりました、「普段家族で行けるような場所ではなく」と言ったところに重点を置きながら、委員会で考え佐世保米軍基地に決定しました。

しかし企画はしたものの、どうすれば米軍基地に入場出来るのか?などなど不安な点も数多くあったのも事実で、この事業を成功させるために委員会で何度も話し合いひとつひとつ問題を解決していく事ができました。

当日は、佐世保米軍基地内を広報課の方と散策を行い、昼食後佐世保米軍基地内に停泊されていた、海上自衛隊のイージス艦にも乗船させていただくことが出来ました。天気は曇り時々雨で内容は多少のズレもありましたが、委員会メンバーの臨機応変な対応で無事に会員と奥様、そして子供達の楽しそうな笑顔に出会う事ができました。

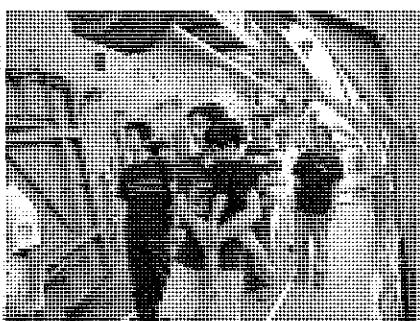
事業が終わって感じたことは、「委員長である自分がエライ!」と正直思っていましたが、「自分ひとりでは出来ない!」委員会メンバー、サポートしてくれる会員、アドバイスをして下さる先輩会員に見守られながら事業を成功させることができますと思いました。

当時の委員会メンバーは今でも感謝し、これからも忘れる事はないと思います。また、当時委員長に指名していただいたことを、今でも有難く思っております。

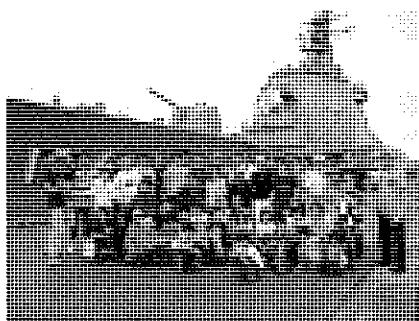
これからは、今まで貴重な経験をさせていただいた事に感謝し、この経験を糧に公私ともに活かし大切にしていきたいと思います。

平成21年度月別事業一覧

4月	
5月	
6月	厄入り清祓い・厄入り懇親会 家族懇親会
7月	
8月	青少年育成事業『発見求め!集え! キャンプっ子! in 西彼』 福山☆夏の大創業祭! 稲佐山 at ビッグNスタジアム『音返し』
9月	9月度定時例会(100%例会)
10月	江戸町公園おくんち広場
11月	ソフトボール大会 全体研修
12月	忘年懇親会
1月	
2月	新人事業
3月	送るタペ



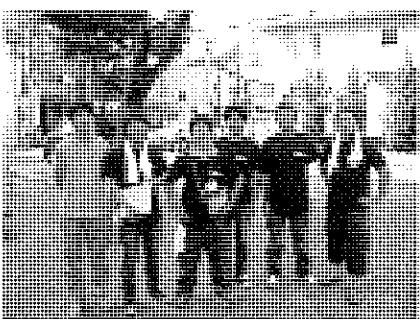
家族懇親会の1コマ



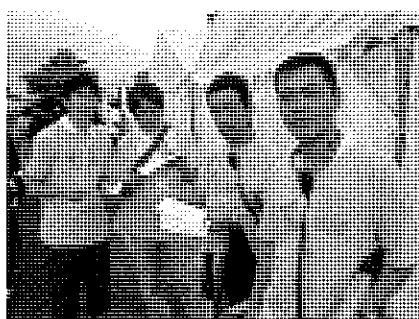
家族懇親会集合写真



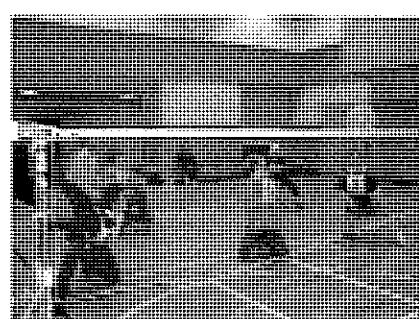
青少年育成事業での1コマ



青少年育成事業担当委員会集合写真



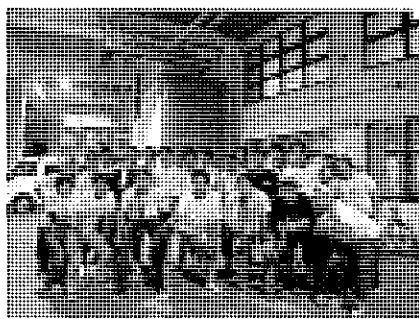
みなとまつりにて



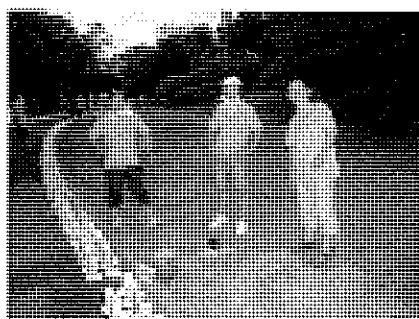
ふうせんバレーボールでの1コマ



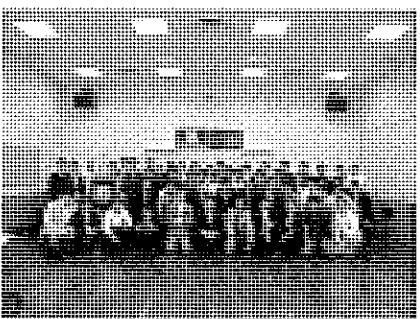
パブリックビューイング打ち合わせ



パブリックビューイング集合写真



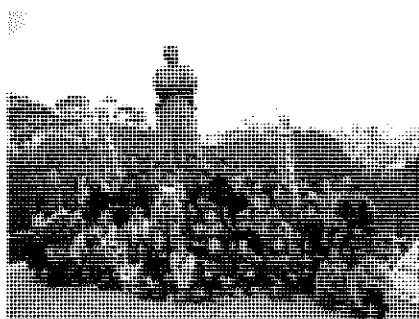
平和の灯にて



100%例会集合写真



おくんち広場にて



全体研修にて

平成22年度スローガン

『活かす!!』



第42期会長

武田

誠

平成22年度を振り返って
交流委員長 舟津 耕治

青少年育成事業



『海フェスタながさき～海の祭典2010長崎・五島列島』の開催に伴い、地域社会への貢献の一環として長崎市と共に開催されたサマーキャンプでした。

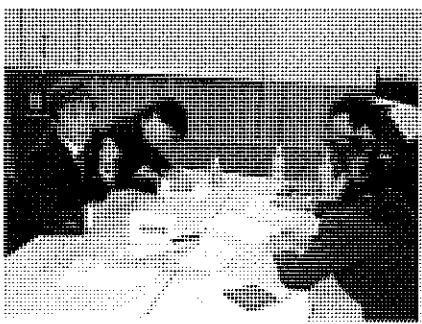
平成22年度の予算審議の期間中に舞い込んだ話で、緊急の理事会を開催して頂いた事を思い出します。当初長崎市の担当の方から、「キャンプでの実績がある長崎青年協会さんの企画運営、1泊2日で参加者50名弱のキャンプを行ってほしい」との要望があったのですが、当時の会長であった武田会長・佐藤室長の後押しもあって最終的に2泊3日の参加者80名での開催となりました。

フェリーをチャーターし、まずは上五島町へ。五島うどんを食べ、鯨賓館ミュージアムの見学、魚釣り、天体観測、現地の子供達と一緒にペーロン競争、海水浴とハードなスケジュールをこなし、3日目には五島市に移動し地引網体験。信じられないほどの大漁だった事、捕れた魚を焼いたり、刺身にして昼食で食べた事、まさにタイトル通りの『夢体験in五島列島』のキャンプでした。子供たちの喜ぶ笑顔と裏腹に疲れ切った大人たちの表情が印象的でもありました。

長崎市と共に事業を行うにあたり、打ち合わせ等大変だったのですが、参加募集のチラシを作成して頂いた事や対象小学生にチラシを配布してもらった事により、800通近い応募があり大反響だった事。長崎市のご協力があった事により、より内容の濃い2泊3日の五島列島で青少年育成事業が行えた事、私にとっては喜ばしい事ばかりで、海フェスタの開催の巡り合わせにすごく感謝しています。又青少年育成事業に長崎市と共に事業が出来たのも、青年協会の諸先輩方が培ってきた実績や功績の賜物と深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

平成22年度月別事業一覧

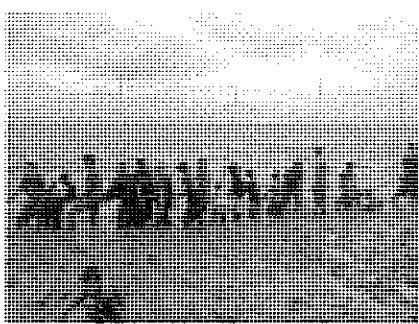
4月	
5月	
6月	厄入り清祓い・厄入り懇親会 龍馬伝撮影警備 ながさき龍馬フェスタ2010
7月	青少年育成事業 『夢体験 IN 五島列島』
8月	
9月	家族懇親会『泥んこツアー』
10月	江戸町公園おぐんち広場
11月	ソフトボール大会
12月	福祉事業(餅つき) 忘年懇親会
1月	
2月	全体研修 新人事業
3月	送るタベ



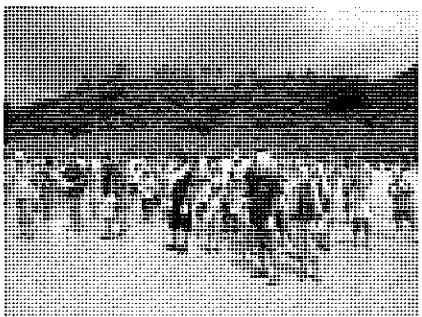
定時例会の 1 コマ



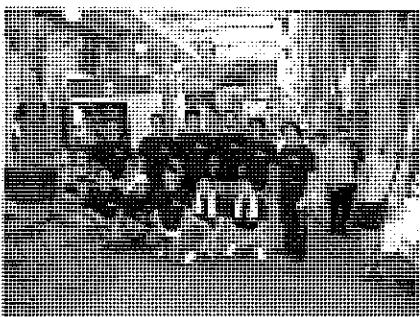
龍馬伝警備打ち合わせ



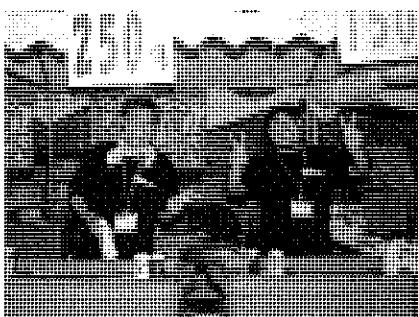
家族懇親会にて



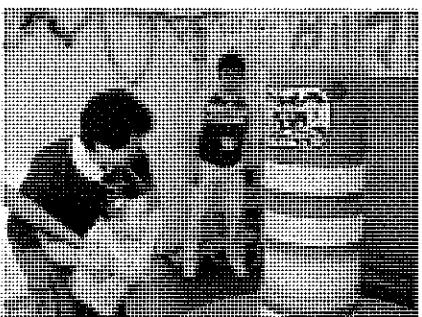
青少年育成事業の様子



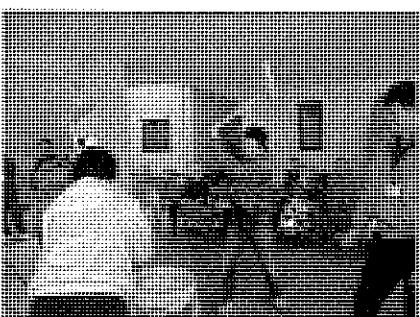
龍馬伝『長崎編』パブリックビューイング



おくんち広場 食品ブースにて



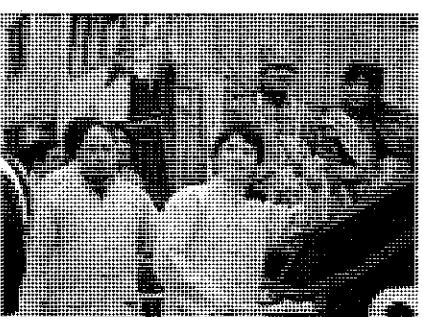
おくんち広場 ゲームブースにて



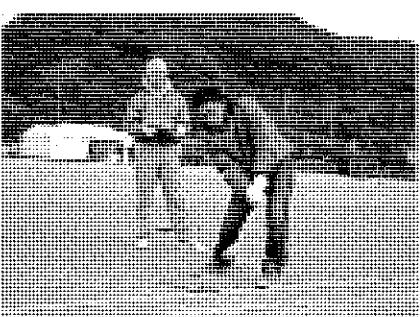
福祉事業の 1 コマ①



福祉事業の 1 コマ②



媽祖行列の様子



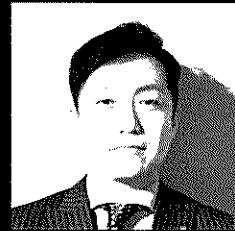
新人事業にて



全体研修 2日目の朝

平成23年度スローガン

『感謝』



第43期会長

山口 健太郎

平成23年度を振り返って
夢の企画推進室室長 野口 富士男

でじマルシェ



でじマルシェの始まりは、それまでに数回あった年度末に行われた会員による討論会内での話が、事の発端だったように記憶しています。それから数年間は青年協会の新たな事業として屋台村や呼子朝市のような事が長崎でも出来ないか!?という話が会員同志で熱く議論をされていました。

そういった中、武田会長の年度に山田祐海OBが特別事業室担当副会長の時に一つの形として『龍馬フェスタ』のイベントに参画し、長崎龍馬会の方々、NHKと協力し素晴らしいイベントが開催出来ました。

が…、その後も新たな事業を行おうという話は消える事なく、当時の山口会長から、私の所に『夢の企画推進室長』なる壮大な担当名が回って来てしまいました。

室のメンバーは、私を含め、船津君、大楠君、吉野君の四人…、長崎の美味しい物を集めたイベントを!という方向性は決まりましたが、「どこで?」「いつ?」「規模は?」など様々な検討課題が次から次に押し寄せて来ました。

当初、場所は県庁裏通りでの開催や、おくんち広場との同時開催も模索しましたが、あえなく断念。そこで、復元出島内での開催、『でじマルシェ』という素晴らしいネーミングと共に、開催も11月の2・3日で決定し、その後は出展者募集、イベント内容の検討、各メディアへの告知や取材要請、ボランティアの募集など非常に時間の掛かる作業の連続でした。

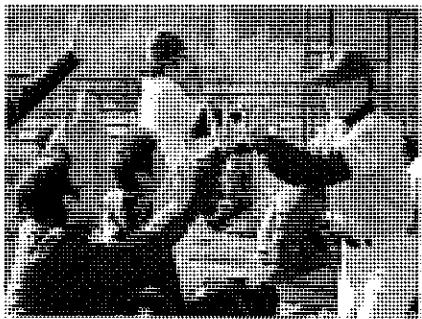
さらに、県の補助事業指定を受けての資料作成に大変苦労しましたが、1番大切な食の出展内容は徹底的にこだわり抜きました。なかでも今ではメジャーになった『対馬とんちゃん』や、長崎和牛『出島ばらいろ』の串焼き、戸石漁協の『フグの唐揚げ』などは非常に好評でした。イベントではミニチュア出島で行った魚のつかみ取りがとても印象に残っています。また、花魁道中やカピタン部屋宴会に各体验型イベントなど、多くの方の協力で成し得る事が出来ました。

残念ながら両日とも雨に降られ、出展者の方々にはご迷惑を掛けてしましましたが、悪天候にも関わらず来ていただいた方には長崎の美味しい食を楽しんでいただけたのではないかと思います。

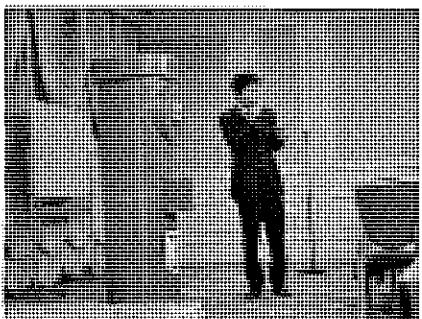
結果として継続は出来なかったものの、私にとっても非常に貴重な経験となりました。改めて関係していただいた方々に感謝申し上げます。

平成23年度月別事業一覧

4月	
5月	
6月	厄入り清祓い・厄入り懇親会
7月	
8月	青少年育成事業『真夏のアドベンチャー!! In 深海渓谷』 大合同例会
9月	家族懇親会 in 高島
10月	江戸町公園おくんち広場
11月	ソフトボール大会 でじマルシェ
12月	
1月	新年懇親会 福祉事業『新春ハタ揚げ祭』
2月	新人事業
3月	全体研修 送るタバ



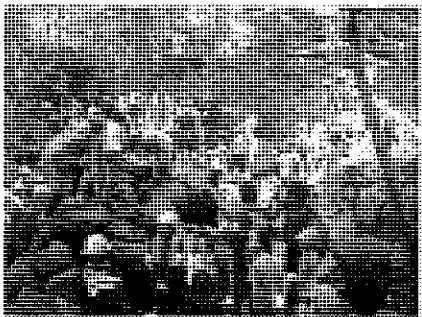
ソフトボール大会での1コマ



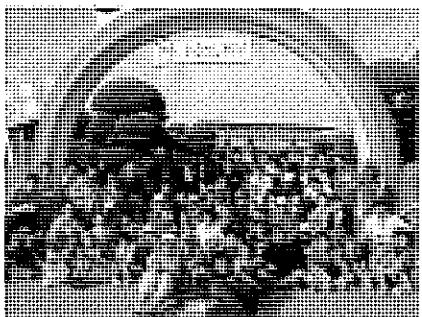
定時例会ヨロコビの1コマ



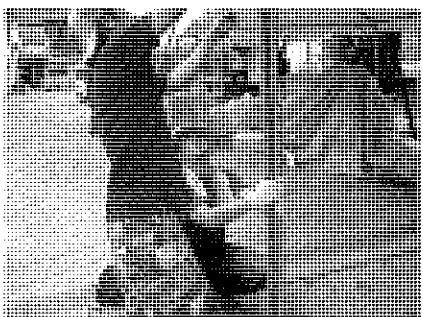
青少年育成事業キャンプファイア終了後



青少年育成事業 沢のぼりの様子



家族懇親会集合写真



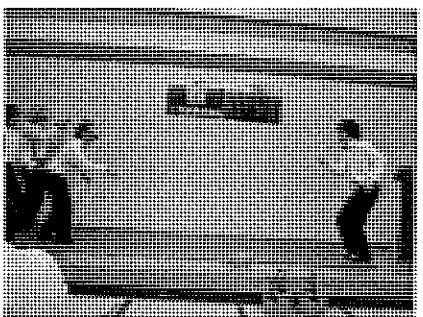
おくんち広場 全体設営での1コマ



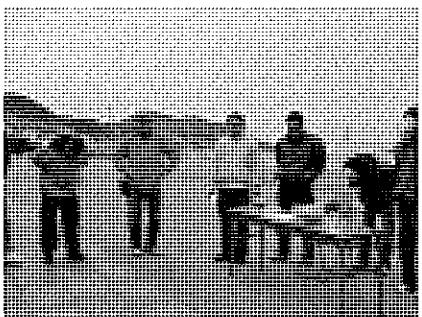
おくんち広場 前日直前



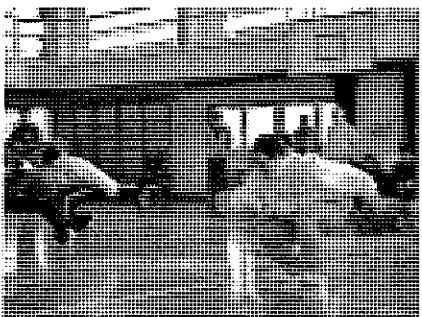
でじマルシェにて



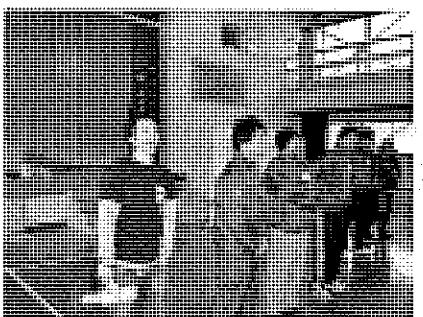
忘年懇親会の1コマ



福祉事業の1コマ



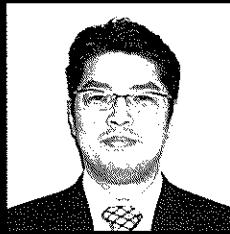
新人事業にて



新人会員のあいさつ

平成24年度スローガン

『對笑』^{たいわ}



第44期会長

佐藤
誉

平成24年度を振り返って
交流委員長 橋本 哲

文化財清掃

長崎の文化財と歴史への認識を深め、触れる事の出来る事を目的として発進し、坂本国際墓地にて文化財清掃を行いました。まず長崎市役所を訪ね、管理が行き届いていない場所があるかを確認したところ、坂本1丁目にある坂本国際墓地があると言う事でしたので、市役所の担当の方と現地調査を行い、文化財清掃の場所として選定をしました。

当日はただ文化財清掃を行うだけでは歴史への認識を深める事は少ないと感じましたので、事前に企画として坂本国際墓地が開設された理由や埋葬されている方の歴史を調べ、会員に提供する事にしました。

坂本国際墓地は、1888年（明治21年）大浦国際墓地が満杯状態を理由に閉鎖された為、開設されました。ここではユダヤ人、義和団事件で犠牲となつたフランス水兵、ベトナム人等が埋葬されています。坂本国際墓地に入ってすぐの場所には、原爆の犠牲になつた長崎名誉市民の永井隆博士夫妻の墓碑が設けられており、他には、トーマス・ブレイク・グラバー氏の弟アルフレッド・グラバー、妹マーサ・ジョージ、甥トーマス・ベリー・グラバーが埋葬されています。

当日話した事のほんの一部ではありますが、以上の事を詳しく調べ会員に敷地内を移動しながら提供し、参加して頂いた30名の現役会員に歴史への認識を深めて頂きました。

清掃に関しては市役所の方との事前打合せにより、入口部分と現地の中で広い区域の清掃をする事にしました。2箇所の清掃場所を参加した30名の現役会員のご協力のもと、想定していた時間よりも早く敷地内の清掃が完了し、現役会員の団結力と行動力の素晴らしさを改めて感じました。まさに憲章に基づき実施できた事業であったと思います。



平成24年度月別事業一覧

4月

5月

6月

厄入り清祓い・厄入り懇親会

7月

7月度定時例会（納涼例会）
青少年育成事業『夏の雲仙でドキドキ体験 IN 諏訪の池』

8月

9月

江戸町公園おくんち広場

11月

文化財清掃
ソフトボール大会

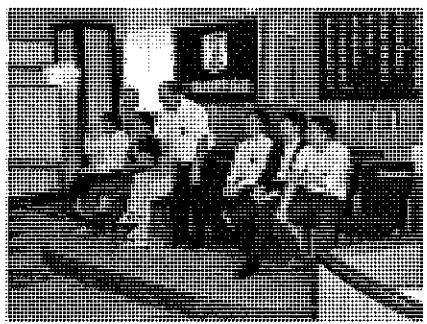
12月

忘年懇親会

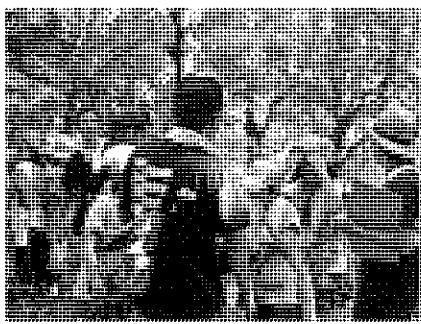
1月

2月

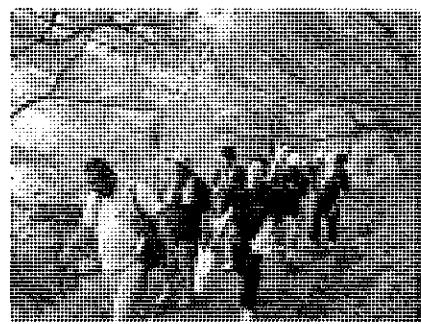
新人事業
会員親睦事業
送るタバ



納涼例会での1コマ



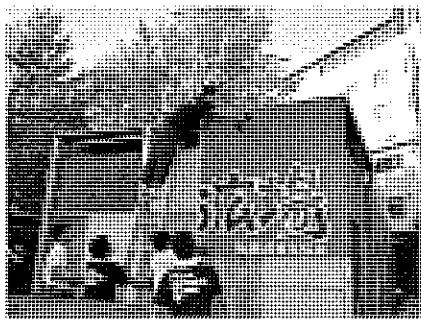
青少年育成事業にて①



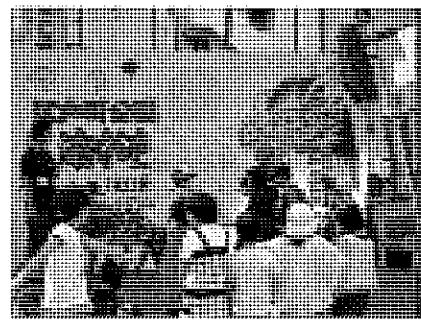
青少年育成事業にて②



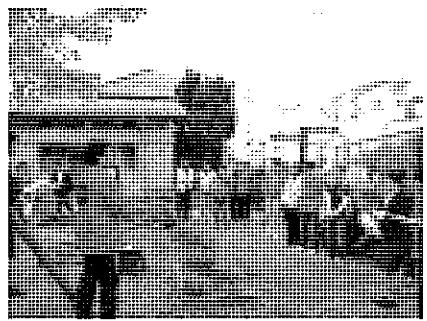
平和の灯にて



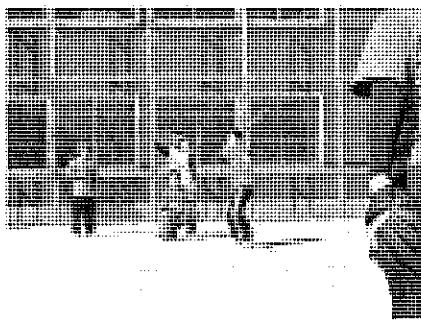
おくんち広場 全体設営にて



おくんち広場ステージイベントの様子



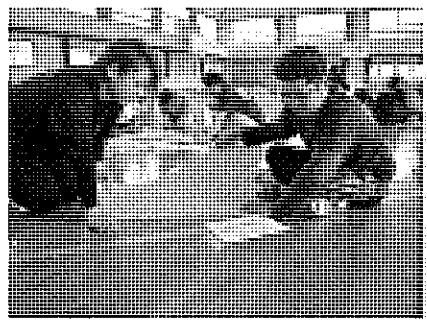
文化財清掃の1コマ



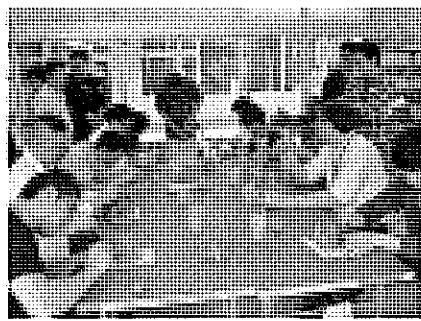
ソフトボール大会にて



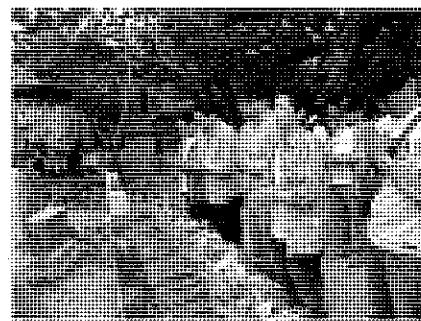
媽祖行列にて



新人事業の1コマ



会員親睦事業での1コマ①



会員親睦事業での1コマ②

平成25年度スローガン

『らしく』



第45期会長

戸村
大助

平成25年度を振り返って
事業委員長 近藤 力丸

おくんち親睦広場

まず、45周年という長い年月を築き上げてきた諸先輩方に敬意をはらい、この記念誌に携われることを光栄に思い、2013年おくんち親睦広場について書こうと思います。

2013年おくんち親睦広場は協会史初の二日間のみの開催となりました。台風という自然災害によるものではありましたが、多くの方々にご迷惑とご心配をかけ私自身も悔しい気持ちでいっぱいでした。しかし多くの仲間に支えられ、先輩たちからも「良い判断だった」と声をかけていただき、今後の事業に活きていくものだと思っています。

入会してまだ間もない私が初の委員長を事業という協会の花形を任され責任と期待が入りまじり不安でしたが、委員会メンバーに恵まれ多くの会員からの協力により、二日間ではありましたが自分のやりたいことを100%やることが出来ました。広場には長崎のマスコットキャラクターの着ぐるみを8体用意してのゆるキャライベントや、ケータリングカーによるスイーツを導入し、内部の負担を減らす新システム、広場の設営から撤去までを撮影したDVD制作など多くのことに挑戦させてもらいました。

この2013年おくんち親睦広場を成功させることができたのは信頼できる仲間たちと先輩たちが積み上げてきた青年協会という力のおかげだと私自身強く感じております。

ただ、先輩方に大変失礼ではありますが、2013年のくんちは過去「最高」のものだと確信しております。そして2014年以降のくんちはそれ以上のものになっていくものだと、そうやって同じ志をもった仲間たちが集い続いてきたのが「長崎青年協会」であると思います。

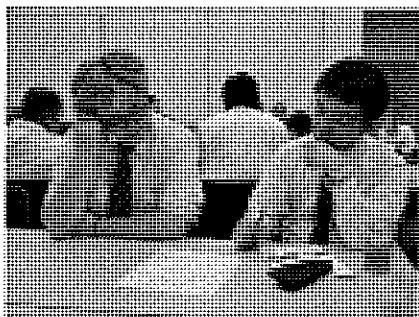


平成25年度月別事業一覧

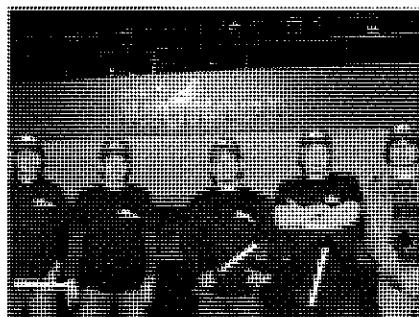
4月	一般社団法人移行
5月	
6月	厄入り清祓い・厄入り懇親会
7月	
8月	青少年育成事業（サマー キャンプ in 四本堂公園）
9月	
10月	おくんち親睦広場
11月	ソフトボール大会
12月	忘年懇親会 45周年記念事業
1月	45周年記念式典
2月	新人事業
3月	送るタペ



定時例会の様子①



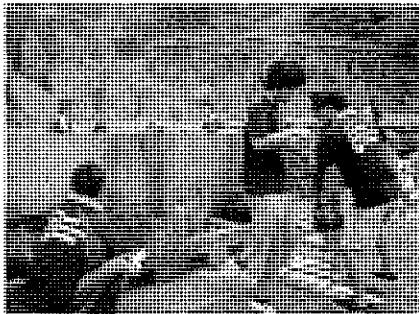
定時例会の様子②



長崎帆船まつりにて



厄入り清祓いにて



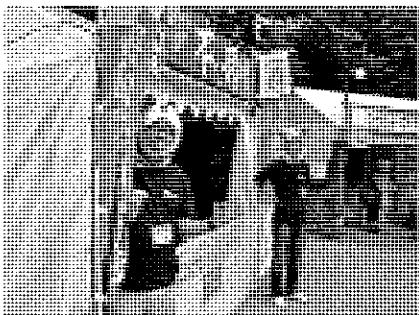
青少年育成事業にて①



青少年育成事業にて②



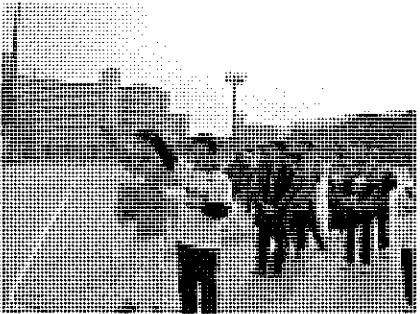
平和の灯の1コマ



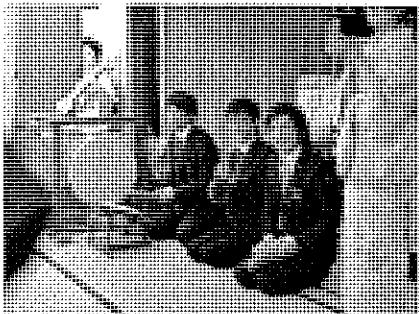
おくんち親睦広場での1コマ①



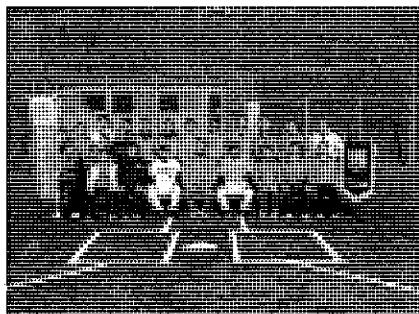
おくんち親睦広場での1コマ②



ソフトボール大会にて



忘年懇親会での1コマ



45周年記念事業集合写真

【特別企画2】若手会員による記念対談①

参加者一覧

広報委員長 吉田法史君 例会委員会副委員長 桐野克哉君 涉外委員会 橋本 哲君
例会委員会 平井聖士君 45周年担当委員会 西山裕人君

司会進行 事業委員会 野口富士男君

今日は45周年記念誌の特別企画として、青年協会が50周年を迎える時に居る方々に集まつてもらい、対談をしていただく訳ですけども、最初に青年協会に入会する前に思っていたイメージと、入会した後に感じた協会のイメージをテーマに、話してもらいたいと思います。まずは今回のメンバーの中で一番若い西山君からお願ひします。



野口 富士男



西山 裕人

佐藤さんの紹介でしたが、お話をした翌日に当時の新人開発委員長の馬渡さんとお会いして入会申込書を提出したので、イメージらしいイメージをする前に入会した形になりました。入会してからは私が東京出身と言うのもあり、知らない土地で人脈を作るのが非常に苦労していた所もあった私に、先輩達から「入った時点で、もう仲間だよ」と言っていただけたので、大人になって知らない土地で仲間が出来るのは非常に良い事だと思っております。



野口 富士男

なるほどね、次に平井君はどういったイメージがあったかな？



平井 聖士

僕も佐藤直前会長の紹介で入会しましたが、入会する前に、最初はボランティアとして『でじマルシェ』に参加させて貰ったのですけど、それが楽しかったというのがあり、入会する事を決めました。



野口 富士男

そうだったね、その節は大変失礼しました(笑)
では、次に橋本君はどう思ってましたか？



橋本 哲

父の友人であるOBの方から紹介されたんですが、自分が東京から長崎に帰ってきて、あまり人脈が無かったので人脈作りの為に何処かの団体に入った方が良いのではないか？という話が父とそのOBの中で話が進んでいたので、そのまま入ってみました。



野口 富士男

よくあるパターンですね、僕もそうでした(笑)
橋本君は入ってから非常に活躍されてますが、色々な経験もしてきたかと思いますが、今の気持ちはどうですか？

【特別企画2】若手会員による記念対談②



橋本 哲

そうですね、今は自分の立場というのも解ってきつつあるんですが、まだ摸索中と言うのもあり、入った当初は活発に活動をしている団体で、今まででは月一回集まって色々な議論をしたりする機会も無かったので、スキルアップに繋がっている感じがしています。公私共に凄くお世話になっている仲間もいて、一つの事を一から作り上げていくという事は、仕事でも活かせる所もあり、青年協会に入ってから得たものと言うのも凄く大きい物があります。これからは今まで培ってきた経験で良い所を後輩達に引き継いでいければと思っています。

橋本君、ありがとうございました。

次は入会した時から色々あった記憶がある桐野君、お願いします。



野口 富士男



桐野 克哉

自分は馬渡鉄洋OBからの紹介で入会したのですが、自分もずっと福岡に居て、長崎に帰ってきて2~3ヶ月後にはもう入会していたんですけど、その年は丁度40周年記念式典があった時で、式典の写真を馬渡OBが持ってきて、「こんなバカみたいな団体だから、お前でもイケるから入れ！」みたいなニュアンスで勧められました。

必殺強引なパターンだね(笑)



野口 富士男



桐野 克哉

それで父とも仲が良かったので、その流れで何も解らないまま「月一回の例会に行けばいいよ」という、軽い気持ちで入会して、仕事自体も殆ど解らない状態でも可愛がっていただけた先輩達から、公私共にお世話になって、そのお蔭で仕事を覚えていったし、プライベートでもよく飲みに連れて行って貰って、その中で熱く話されて社会人としての勉強もさせて貰いました。今、入会して5年目ですが、もし協会に入ってなかったら今の自分と大分違うのではないかと思います。

解りました、では50周年の時には、このメンバーの中で最年長になっている吉田君、お願いします。



野口 富士男



吉田 法史

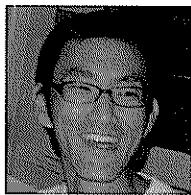
僕は山口健太郎OBが会長をされていた年に入会しまして、前の仕事の関係で、以前から『おくんち広場』のチケットなどを持ってきて貰ってとかしてましたので、何となくどういった団体なのか解った状態で入会しました。入会した年は、池田賢太郎さんが福祉委員長をされていた時で、入って初めての委員会が夜中の1時か2時まであって、池田さんから「こんなものだよ～」と言われてたので、「毎回こんな遅くまで委員会があるんだ～」と思った事は今でも印象に残っています。

辞めた方がいいかなと考えた事はありますか？



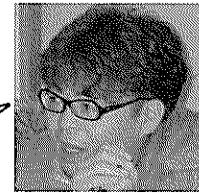
野口 富士男

【特別企画2】若手会員による記念対談③



吉田 法史

それはありませんでした。紹介してもらった山口OBが会長をされていた事もあったし、8月にはキャンプがあって、僕が入会した時には「諫早青少年の家でキャンプをする！」という事で走っていたので、話が進んでいたので、「これをしなきゃ！」というのがあって、キャンプが終わるまでは委員会にドップリ浸かっていたので、それが良かったのかなと思っています。



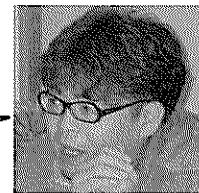
野口 富士男

ありがとうございました、では次のテーマに進みたいと思います。
色々な携わりやスタンスはあると思いますが、今ここにいる人達が青年協会で
これからしていきたい事、事業だけでなく制度的な事を含めて、
自分がしていきたい事を橋本君から教えてください。



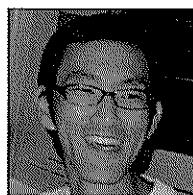
橋本 哲

そうですね、会員が減少して行っている現状で自分が出来る事をやっていければ良いかなと今は思っていて、会員を集めしていくという事はしていく事ではありますが、減少して行く中でやるべき事をやっていって、青年協会の元々のスタンスを崩さないように、やっていければ一番良いのかなと言うのと、自分がやってみたい事と言えば、卒業までに他団体のイベントと連携して、何か一つ大きい事業をやってみたいと思っています。青年協会で三尺玉の花火を一発でも打ち上げるとか、そういう事が出来たら凄く思い出になると思います。



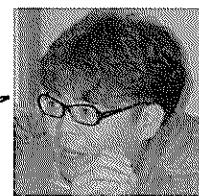
野口 富士男

ありがとうございます。吉田君はどんな事をしたいと思いますか？



吉田 法史

特別何かをしたいというのはありませんが、今、広報委員長をさせていただいているのですが、広報誌をもっと面白くしたいと思っていた時にチャンスが来たので、「よし！やってやろう！！！」と思って、やりたいように広報誌を作らせて貰っているので、今は残りの期間を頑張っていきます。



野口 富士男

その経験をこれから伝えていく役割が出てくると思うので、その時は後輩達に
伝えて行ってください。次は西山君、お願ひします。



西山 裕人

何かしたい大きな事業と言うのはまだ見えてませんが、制度的に言えば会費がネックかな？と思いまして、私自身も会費が払っていてキツイなと思う時もあって、私より下の世代はもっとキツクなるのではないかと思っているので、そういう制度的な事は考えた方が良いのかな？と思います。例えば、正会員は今まで通りの会費で、賛助会員みたいな会員には会費を安くして、事業の時には協力してもらう代わりに、会からの福利厚生は受ける事は出来ないけど、『事業を一緒にしましょう』といった会員を増やしていく方が良いのではないかと思います

【特別企画2】若手会員による記念対談④

費用面な事もそうだし、人的負担も少しでも解消する為に
そういった事にも取り組んだ方が良いという事だね。
ありがとうございました、では桐野君はどうですか？



野口 富士男



桐野 克哉

自分もどちらかと言うと、あまり考えないで行き当たりバッタリな人間なので、
この先どういった事をしていこうというビジョン的にはないんですけど、
来年はある担当をさせていただく予定ですので、自分の同級生が協会にいない
状態で、目先の目標として自分と同世代の会員を増やしていくには、
色々な考えがそこから生まれてくるのかな？と思っています。



野口 富士男

ありがとうございます、では平井君に聞きます。
50周年まで続けていく中で色々と問題点はあると思うけど、
例えば事業が多いなどとか？とか何かこうした方がいいかな
とか思う事はないかな？



平井 聖士

事業が多いというのは感じませんけど、会員が少なくなっていくと言うのが
不安に思っているので、50周年に向けて、そこをどう改善していくか
とか思っています。



野口 富士男

こうしたら良いのかな？といった事は、今はまだ無いかな？



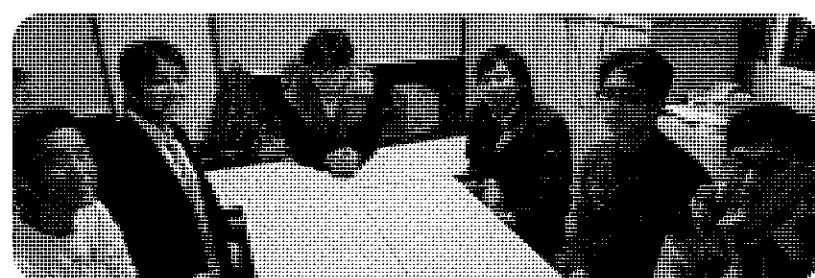
平井 聖士

会員の人の紹介だけでなく、もっと他にアピールして青年協会の事を
もっと知って貰って、その中で、最初はボランティアからでも良いと思うので、
『こういった活動をしています』とアピールして、
存在を知って貰うというのが必要かと思っています。



野口 富士男

僕も50周年の時には偉そうに50周年記念式典に参加したいと思っているので、
会員の問題や景気の問題などもあると思うけど、
50周年にいる皆さんに頑張っていってください。
今日はありがとうございました。



現役会員名簿

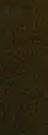
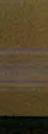
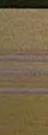
	氏 名	職 業	入会年度
あ	荒木 訓弘	うなぎ小売・販売	平成22年 4月入会
い	池田賢太郎	焼き鳥販売	平成11年 5月入会
	齋宮 潤	制服販売業	平成23年12月入会
	伊東 照彦	広告企画製作業	平成21年11月入会
	今田 拓郎	建設業	平成23年 7月入会
	岩永 和哉	冠婚葬祭互助会業	平成24年 8月入会
	岩村 太基	不動産業	平成22年 4月入会
う	打田 健史	建設業	平成19年11月入会
え	江崎 晃史	解体業	平成17年10月入会
	江東 勉	事務機器販売業	平成23年 1月入会
お	大楠 浩生	白蟻駆除業	平成21年 4月入会
	小川 順	御茶販売業	平成12年10月入会
	小川 智央	税理士業	平成25年 7月入会
か	桂 雄剛	石材業	平成12年 6月入会
	川口 千波	福祉用具販売業	平成22年 5月入会
き	北川 栄太	内航海運送業	平成22年 6月入会
	桐野 克哉	看板業	平成21年 4月入会
く	草野 浩一	自動車販売業	平成21年 6月入会
	草野 浩二	飲食業	平成23年 4月入会
	窪井 良介	土地家屋調査士業	平成26年 1月入会
こ	小嶋ミチ子	療術業	平成20年 5月入会
	小嶺 健一	総合建設業	平成22年10月入会
	近藤 力丸	内装業	平成23年 2月入会
さ	酒井 賢一	小売業	平成25年 7月入会
	佐藤慎太郎	塗装業	平成20年11月入会
	佐藤 誠	介護老人福祉業	平成16年 8月入会
し	下村 祐也	ホテル業	平成25年 4月入会
	城 竜次	警備業	平成22年 4月入会
す	鈴木 秀規	自動車販売業	平成26年 1月入会
た	谷川 恵太	飲食業	平成25年 1月入会
	高屋 昌弘	保険業	平成22年 3月入会
	田中 徹	飲食業	平成22年 6月入会
て	手塚 浩介	金物小売業	平成21年 4月入会
と	常盤 俊介	酒類販売業	平成21年 6月入会
	戸村 大助	医療機関	平成18年 2月入会

現役会員名簿

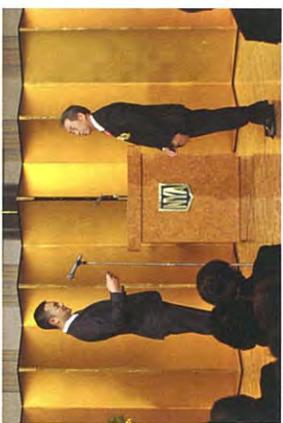
氏 名	職 業	入会年月
と 富田 宜邦	小売業	平成21年 8月入会
な 中村勇一郎	官公庁	平成23年 1月入会
に 西山 裕人	エステティックサロン	平成22年 9月入会
の 野口富士男	理容業	平成10年11月入会
野村 健一	土地家屋調査士業	平成26年 1月入会
は 萩原 尚美		平成24年 5月入会
橋本 哲	ボイラーメンテナンス業	平成21年12月入会
濱口 吉朗	生花販売業	平成20年11月入会
濱崎賢司朗	飲食業	平成24年12月入会
原田 武司	飲食業	平成25年12月入会
ひ 平井 聖士	警備業	平成24年 7月入会
ふ 福島 賢吾	電気工事業	平成21年 4月入会
福永 亘	小売業	平成23年 6月入会
藤丘 俊英	運送業	平成25年 8月入会
船津 耕治	介護老人福祉業	平成20年 5月入会
古里 一紀	塗装防水業	平成17年 4月入会
ま 前瀬 正一	防水工事業	平成20年 9月入会
松下 道	レンタカー業	平成17年 1月入会
馬渡 一正	弁当製造・販売業	平成19年 4月入会
み 満嶋 優樹	造園業	平成17年12月入会
峰 一寛	建設業	平成19年 4月入会
宮口 智行	ビルメンテナンス業	平成18年 4月入会
宮崎 高舟	市議会議員	平成15年 1月入会
む 向 篤司	クリーニング業	平成21年 4月入会
も 本村龍一郎	建設業	平成23年12月入会
森田 誠士	リネンサプライ業	平成23年12月入会
や 山口 耕平	金融業	平成25年 6月入会
山口真一郎	飲食業	平成20年 6月入会
山口 稔之	印刷業	平成18年 4月入会
山本 博貴	卵加工業	平成19年 6月入会
山本 陽子	飲食業	平成24年 2月入会
よ 吉田真一郎	酒類小売販売業	平成22年 8月入会
吉田 法史		平成23年11月入会
吉野辰之輔	飲食業	平成20年12月入会
り 力武 伸一	弁護士業	平成25年 1月入会

一般社団法人長崎青年協会 創立45周年記念式典

45th
anniversary



一般社団法人
長崎青年協会

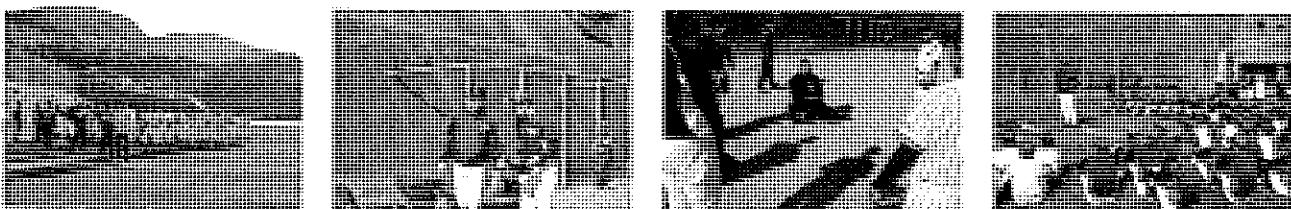


45周年記念事業に携わって

平成25年12月8日、45周年事業として「野球教室」「記念講演」の2部構成で担当させていただきました。野球教室は、委員長のたっての希望で中学生対象に南山高校野球練習場にて開催。元読売巨人軍「香田勲男」さん(投手)・「吉村禎章」さん(野手)を講師に招き、投手・野手に分かれて投球・走塁・捕球・打撃をほぼマンツーマンに近い形で熱血指導して頂きました。

両氏の指導の中で一貫していたことは、決して基本をおろそかにせず、1点を取るため、そして1点を守るために各自で考えてできる小さな一つ一つの作業を積み上げていくことが、自身のパフォーマンスを向上させ、ひいてはチームの勝利に繋がる唯一の方法であるというものであり、我々の普段の生活に置き換えて深く考えさせられる内容でもありました。

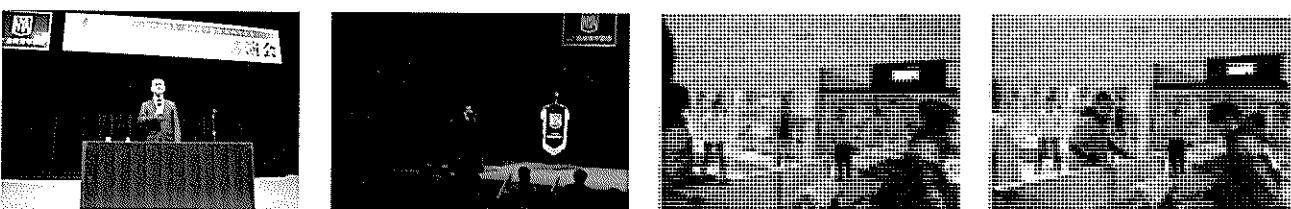
更にかつては高校球児として「捕手」経験のある佐藤委員長が抜擢されて、捕手の指導を任されていたのも印象的でした。午後からは講師のお二人の提案で、香田さんが投げて生徒が打つという企画も実現し、香田さん対吉村さんの夢の対決迄も見る事が出来ました。ご父兄の方々も「こんなに熱をもって指導して頂けるのはありがたい。参加して良かった。」の声も聞けました。



同日の夕方に開催した「記念講演」は、「義田貴士」さんをお迎えして、千歳町のチトセピアホールにて「夢に向かって」というテーマで講演を行って頂きました。義田さんはスポーツジャーナリストとして日本人メジャーリーガーの方々と親しくされるなど、数多くのスポーツ選手との深い交流の中で培った経験や知識を基に、全国で講演をされている方です。

公演の内容も「高いモチベーションを維持するために、遠い目標ではなく、達成するイメージが描ける近い目標を設定し、それを積み重ねていくことが重要」など、思わず「うんうん」とうなずいてしまう話が多く、実りある内容でした。

講演会の周知が不十分だった為ご迷惑おかけしたことは反省点ですが、それも含めて大変良い経験をさせて頂いたと思っております。青年協会でしか味わえないこの貴重な経験を今後の協会活動や日々の仕事に生かしていきたいと思います。「香田さん・吉村さん・義田さん」本当にありがとうございました。



45周年担当委員会 江東 勉

編集後記

一般社団法人 長崎青年協会45周年記念誌を作成していく上で、当会の歴史の長さを改めて知る事が出来ました。

私達が今、長崎青年協会の一員として活動出来るのも、長崎の為に立ち上ったOBの先輩方の故郷長崎への想い、また私達の活動に対して様々な方々のご理解とご協力があったからこそ、45周年と言う記念すべき年を迎える事が出来たのだと思っております。

これからも長崎の為に積極的に動き、先輩方が培ってきた経験を活かして、どんな時でも感謝の気持ちを忘れず、会員同士笑顔を絶やさずとことん話し合い、どんな時でも私達らしく楽しんで活動していきます。

45周年記念誌作成にご協力いただいた皆様へ感謝の気持ちを込めて。

45周年担当委員会一同

45周年担当委員会メンバー

委員長	佐藤 慎太郎
副委員長	山本 博貴
副委員長	江東 勉
	宮崎 高舟
	伊東 照彦
	西山 裕人
	中村 勇一郎
	濱崎 賢司朗
	酒井 賢一
	小川 智央
	原田 武司

発行 一般社団法人 長崎青年協会
事務局 長崎市江戸町4-5 三瀬ビル3F
TEL 095-821-1625
FAX 095-823-7375
URL <http://www.nya.or.jp>
Mail info@nya.or.jp

印刷 有限会社 タイピント印刷

